

児童生徒の状況把握について

義務教育課

1 ねらい

大震災後、2年目からの児童生徒の問題行動の増加が懸念されるため、児童生徒の抱える問題を早期に把握し、早期に対応できるよう、定期的に簡易アンケートなどを行う。

2 対象

小学校4～6学年、中学校1～3学年

3 実施方法

(1) 簡易アンケートは、無記名とし、月1回程度は実施し、学級経営等の参考とする（年1～3回実施している学校独自調査を行うほか、それ以外の月は簡易アンケートを行う）。

(2) 簡易アンケート様式の例（小学校）

| 学校生活アンケート | |
|--|---------------------|
| 年 組 (男・女) | |
| このアンケートは、みなさんが、毎日楽しく安心して学校生活を過ごせるように行います。当てはまるところに○をつけてください。 | |
| 1 学校は楽しいですか。 | |
| (1) 楽しい | (2) ふつう (3) 楽しくない |
| 2 今、先生に相談したいことがありますか。 | |
| (1) ある | (2) ない |
| 3 今、だれかにいじめられていますか。 | |
| (1) いる | (2) いない (3) こたえられない |
| 4 このごろ、だれかがいじめられているのを見たことがありますか。 | |
| (1) ある | (2) ない |

(3) 活用例

「学校が楽しくない」「相談したいことがある」「いじめられている」又は「こたえられない」「いじめられているのを見たことがある」にチェックされている場合は、追調査等を行う。追調査には、見取り、面接、再調査などが考えられる。

4 その他

(1) 児童生徒の抱える問題を把握するための方法で日記等を活用している場合は、それに置き換えることができる。

(2) 様式は例を参考に、学校で作成する。

(3) 簡易アンケート等は各学校で活用し、県教委に提出する必要はない。